

令和5年9月14日

市政記者各位

福岡市美術館

FaN Week 2023

塩田千春《記憶をたどる船》プレス向け内覧会

福岡市美術館の新たな収蔵作品となる、日本を代表する現代美術家 塩田千春氏の新作《記憶をたどる船》が、9月16日（土）にお披露目となります。一般公開の前に、プレス向けの内覧会をおこないます。

塩田氏本人が作品の前で取材をお受けいたします。

何卒ご取材いただきますようお願い申し上げます。

■日 時：2023年9月16日（土）9時～9時30分

*参加される報道機関のかたは、

プレス受付（2階ロビー、8時40分より受付開始）へお越しください。

塩田千春（しおた ちはる）

1972年大阪府生まれ。ベルリン在住。生と死、存在、記憶など、人間の根源的な問題をテーマに、赤や黒の糸を空間全体に張り巡らせた作品で知られる。2015年ヴェネチアビエンナーレ国際美術展日本館代表。2019年に森美術館で開催した個展「塩田千春展：魂がふるえる」では、入場者数66万人を記録。



Photo by Sunhi Mang

《記憶をたどる船》

（2023年／ロープ、鉄枠、写真／H500×W500×D280）
巻物を広げたように斜めに広がる赤い網。そこから垂れ下がる無数の糸には、福岡の歴史にまつわるたくさんの写真がとなぎとめられ、床には船が置かれます。古来船をとおして、人や荷物を運び、世界の人々や文化と繋がってきた福岡の地。無数の糸は、船がたどってきた航路や人のつながりを示します。福岡の歴史や記憶、さらに未来への希望をあらわす、大型インスタレーション作品です。



プラン図

【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当：山木、後藤
TEL：092-714-6054 FAX：092-714-6145
E-mail：yamaki@fukuoka-art-museum.jp